

令和6年度

前森高原

自然ふれあい館土地及び建物の利活用プロジェクト

【仕様書】

山形県最上町

## 令和6年度 前森高原 自然ふれあい館土地及び建物の利活用プロジェクト 事業仕様書

この仕様書は、下記の事業を実施するにあたり、必要な事項を定めたものである。(但し、本仕様書は土地及び建物の利活用に係る事業のみの記載であり、プロポーザルにより選定された事業者が自主事業を行う場合において、円滑に利活用するにあたり、協議の上で、仕様書の内容を一部変更する場合があります。)

1. 名称：

令和6年度 前森高原 自然ふれあい館土地及び建物の利活用プロジェクト

2. 事業着手日：

土地及び建物の譲渡完了。

3. 事業概要：

自然ふれあい館土地及び建物の利活用で町が認めた(プロポーザルで採択された)自主事業または利活用方法とする。

4. 利活用内容：

土地建物の活用方法：土地、建物とも利活用、土地のみ利活用、その他など、但し、公序良俗に反する提案は失格とする。

5. 土地建物の受け渡し：

土地及び建物は現状渡しとし、対象物件に対する最上町の瑕疵担保責任は一切負わないものとする。

6. 土地について：

最上町大字向町 2135 番地 460

面積：1,974 m<sup>2</sup> 現況：宅地

7. 建物について：

最上町大字向町 2135 番地 460

構造：木造 2F 建て 用途区分：建物・作業場

床面積：1F 250.04 m<sup>2</sup> 2F 33.12 m<sup>2</sup>

価格：無償譲渡とする

8. 土地・建物の最低落札価格（最低売買価格）について

¥450,000- とする

9. 登記手続きについて：

選定者は土地及び建物の移転登記を町の嘱託において協議の上、行うものとする。

またその費用負担は選定者が負担することとする。

10. 契約行為について：

土地及び建物の売買契約を町と協議の上、行うものとする。

これに係る経費は選定者が負担することとする。

11. 建物の改造について：

譲渡完了後に可とする。

12. 本事業の変更及び中止について：

本事業概要については現時点での予定であり、提案内容や協議により変更する可能性があることに留意すること。また、本事業に関しては公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の見直し等により内容の一部変更や中断等も考えられるものとする。その場合において、選定者に損害が生じた場合、その損害への対応については協議の上決定する。

13. 提案者の損害：

提案者は実施要領及びその他関係書類を確認の上、最上町に対して企画提案すること。提案者が選定されなかった場合において、損害が発生しても最上町は責任を負わないものとする。

14. その他：

- ・この土地・建物は観光施設エリア内に立地しているため、地域の活性化は勿論のこと、利用者や近隣住民と良好な関係を築くこと。
- ・個人情報及び業務上知り得た情報の取扱いには十分留意すること。
- ・町の信用を失墜するような行為は行わないこと。
- ・その他本仕様書に定めない事項については、町の指示を仰ぐものとする。